



Gunning for Action

ライフル協会か、国民の命か 銃撃事件生存者、大統領へのメッセージ

今年に入ってから既に302件*もの銃乱射事件が発生している米国。多数の犠牲者を出す事件が起きるたびに銃規制議論が浮上するものの、同国有数の圧力団体 NRA（全米ライフル協会）からの断固たる反対もあり規制立法には至らず、毎日のように銃関連事件が発生しているのが現状だ。大統領選が来年に迫る中、トランプ大統領は銃規制論をどう結論付けるのか。銃乱射事件の生存者の話から、「安全な米国」実現までの道筋を考える。
*9月19日現在、Gun Violence Archive (<https://www.gunviolencearchive.org>) による



番組ホスト

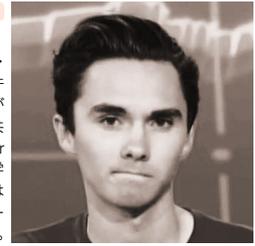
アンダーソン・クーパー

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

ゲスト

デービッド・ホッグ

2018年2月、高校在籍時にマージョリー・ストーンマン・ダグラス高校銃乱射事件に遭遇。同事件では生徒・教職員17名が犠牲となった。事件後、同校の生徒と共に銃規制を訴える学生団体「Never Again MSD」を創設。同団体が率いた学生主導デモ「March for Our Lives」には主催者発表で80万人が参加し一大ムーブメントを巻き起こした。2000年生まれ。



77 繰り返される悲劇、トランプ大統領の反応は



Anderson Cooper Shortly after El Paso and Dayton, [the] president was going to stand up to the NRA and its position that imposing tougher background checks for gun buyers would be the first step onto a slippery slope. That's a common NRA talking point. [The] president said he did not buy the slippery-slope argument from the NRA.

David Hogg joins us now. He survived the shooting at Florida's [Marjory] Stoneman Douglas High School and is now a gun-control advocate.

David, appreciate you being with us. I'm wondering, first of all, what your response is to this...the...you know, the idea that they're going to have some gun proposals by, you know, when Congress comes back?

gun for:

《タイトル》～を狙う

El Paso and Dayton:

▶2019年8月3日にテキサス州エルパソにて、翌4日にオハイオ州デイトンにて発生した銃乱射事件を指す。

stand up to:

(手ごわい相手に) 抵抗する、立ち向かう

NRA:

= National Rifle Association of America 全米ライフル協会

impose:

～を課す、義務付ける

tough:

断固たる、厳格な、厳しい

background check:

身元調査、経歴確認

slippery slope:

《比喩的に》(破滅へと続く) 滑りやすい坂道、危険な先行きとなる不安定な状態

▶新しい制度などについて

「それ自体は悪いものではないとしても、それをきっかけに物事が悪い方向に進む危険をはらんでいる」という慎重論。

common:

よくある、ありふれた

talking point:

切り札となるテーマ、話題

buy:

(意見などを) 受け入れる、(提案などに) 賛成する

survive:

～を生きのびる、生き残る

gun-control advocate:

銃規制論者

response to:

～に対する反応、感応

Congress:

米連邦議会

アンダーソン・クーパー エルパソと

デイトンでの銃乱射事件からほどなく、大統領はNRA(全米ライフル協会)とその見解に立ち向かう姿勢を見せました。その見解とは、「銃の購入者たちに対するより厳しい身元調査の義務付けは、今後、状況が悪い方へ転がる最初の一步になる」というものです。これはNRAが切り札的によく使う論法です。大統領は、そんなNRAの「滑り坂」論法は受け入れない、と語りました。

ここでデービッド・ホッグさんをお迎えします。彼はフロリダ州のマージョリー・ストーンマン・ダグラス高校で起きた乱射事件の生存者で、今は銃規制を訴える活動家です。

デービッドさん、今日のご出演ありがとうございます。まず、あなたはどうかと思われませんか、議会の休会明けまでに彼ら(トランプ政権)が銃規制に関するいくつかの提案を用意するという考えについて。